

日本からオーストリア便り ~ ドナウの河下り ~

オーストリアの観光編(いつのまにシリーズになったんだろう?)今回もお楽しみください。

前回、メルクの街で終わってしまいましたが、今回はいよいよ(やっと?)船に乗ってドナウ河下りです。



ここから船にのります。船は2社あって、なぜか両方とも1日河下り・川上りそれぞれ1便なのですが、出発時間も一緒なのです。ちょっと不思議。ずらしてもよさそうなのに。運行は4月から10月までです。



今回のった「Austria」号。中は結構広いのです。



船からの眺め。河といっても広い!ものすごく暑い日だったのですが、船が動き始めると風もあって肌

寒いくらい。デッキに座ってもよし、中のレストランでゆっくりお食事しながら景色を見てもよし。レストランはちゃんとフルサービスのものでした。もちろん売店もあり。



はためく国旗。もうこれでオーストリアの国旗は覚えましたね。皆さん。



両岸に小さな町が見えてきます。このあたりは Wachau (ヴァッハウ) 地域と呼ばれて、良いワインの産地でもあります。日本ではあまりオーストリアワインはおなじみではなく、ついつい、ドイツと同じように、甘口の白ワインを想像されるようですが、赤・白ともに辛口の良いワインがいっぱいあります。オーストリア特有のぶどうの品種には **Grüner Veltliner** (グリューナー・フェルトリーナー) 種などがあります。ちょっと胡椒のようにぴりっとして、果物の香りもするおいしいワインです。一度お試しあれ。(飲めない私がいうのもなんですが…。)



この山の斜面一帯がブドウ畑です！



山の上をよーくみると廃墟になったお城が…。ここは昔使われなくなったお城を山賊が隠れ家に使っていたそうです。この辺の説明は船の中でもアナウンスがあります。(ドイツ語・英語・日本語がありました。)



崖の横を走り、もうちょっとで山をくりぬいて作ったトンネルに突入する ÖBB(オーストリア鉄道)



小さな町がたくさんあります。途中下車できるのだったら、降りてみたかった…。



デュルンシュタインに到着！今回はいけませんでした。有名な古城ホテルがあったり、とてもこじんまりとした綺麗な街。



山の上は、今は廃墟になっているお城です。12世紀中頃に築かれたこの城には、十字軍遠征の帰路ウィーン付近で捕らえられたイギリスの「リチャード獅子心王」が幽閉されていたという有名な歴史があるそうです。



船からみたデュルンシュタイン…。次はここにいってみようと思いました。

そして最終目的地 Krems(クレムス)に到着。この街もワイン博物館やら面白そうなかわいい街だったのですが、電車の時間の都合で素通りになってしまいました。この街特産のセイヨウスモモの入ったチョコレートが名物だそうです。(おいしかった。)

河下りが1時間40分程度。川上りになると3時間程度とのことです。日本ではなかなか体験できない、河下り。(やっぱり河の規模が違う…)4月～10月限定ではありますが、機会があれば是非。もちろん、ドイツのライン河下りもいいですよ。日差しはきつく、風は強いので、日焼け止めとサングラス、そしてちょっと羽織るもの(そしてもちろんカメラも)をお忘れなく！

オーストリア観光編、いったん終了です！
ご意見やご感想、その他楽しみにしています。